



2025年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月12日

上場会社名 株式会社石井表記 上場取引所 東
コード番号 6336 URL <https://www.ishiihyoki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 晋宏
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 松井 忠則 TEL 084-960-1247
半期報告書提出予定日 2024年9月13日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年2月1日～2024年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期中間期	7,477	△11.8	448	△49.9	505	△49.4	355	△55.9
2024年1月期中間期	8,480	19.9	896	61.7	998	108.0	806	115.8

(注) 包括利益 2025年1月期中間期 864百万円 (△11.6%) 2024年1月期中間期 977百万円 (13.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期中間期	43.63	—
2024年1月期中間期	98.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年1月期中間期	16,140	9,428	58.4
2024年1月期	16,681	8,686	52.1

(参考) 自己資本 2025年1月期中間期 9,428百万円 2024年1月期 8,686百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年1月期	—	0.00	—	—	—
2025年1月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年1月期の連結業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,347	△14.2	732	△53.7	835	△51.5	620	△43.7	76.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2024年9月12日）公表いたしました「2025年1月期第2四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は(添付資料)9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年1月期中間期	8,176,452株	2024年1月期	8,176,452株
② 期末自己株式数	2025年1月期中間期	23,827株	2024年1月期	23,607株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年1月期中間期	8,152,228株	2024年1月期中間期	8,152,866株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の中間連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当中間連結会計期間より百万円単位で記載することに変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前中間連結会計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善に加え、インバウンド需要の回復が持続したことなどから緩やかな回復が続きました。一方で長期化する中東地域での紛争、ロシアによるウクライナ侵攻など不安定な海外情勢の継続や、日本銀行の金融政策見直しに伴う政策金利の動向、不安定な為替相場など先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、プリント基板分野においては、A I 関連を中心に半導体需要が拡大しており、半導体向けパッケージ基板の需要も回復傾向にあります。一方で液晶関連分野におきましては、引き続き液晶パネルの需要が停滞し、中国においても引き続き現地経済が減速していることから、電子部品実装需要の調整局面が続いております。

このような環境のもと、当中間連結会計期間の売上高は74億77百万円(前年同期比11.8%減)となり、営業利益は4億48百万円(前年同期比49.9%減)、経常利益は5億5百万円(前年同期比49.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は3億55百万円(前年同期比55.9%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子機器部品製造装置)

プリント基板分野では、半導体需要の拡大に伴い、半導体向けパッケージ基板の需要も回復傾向にあり、売上高は前年同期を上回りました。

液晶関連分野におきましては、引き続き液晶パネル需要は停滞し、パネルメーカーの生産調整は続いておりますが、新規参入需要を取り込み、液晶パネル製造装置の販売が増加したことなどから、売上高は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は25億6百万円(前年同期比18.5%増)、営業利益は3億55百万円(前年同期比42.6%増)となりました。

(ディスプレイ及び電子部品)

自動車向け印刷製品の売上高は、前年同期並みの水準となりました。工作機械及び産業用機械向け操作パネルについては、顧客の生産調整が続き、売上高は前年同期と比較し減少いたしました。

連結子会社におきましても、JPN, INC. は主要顧客の減産による在庫調整が続いており、前年同期と比較して減収減益となり、上海賽路客電子有限公司も、中国経済の減速が続き電子部品実装需要が減少していることから、前年同期と比較して減収減益となりました。

その結果、売上高は49億66百万円(前年同期比21.9%減)、営業利益は93百万円(前年同期比85.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ5億41百万円減少の161億40百万円となりました。

流動資産は、104億45百万円となり前連結会計年度末と比べ6億19百万円減少いたしました。これは現金及び預金が6億93百万円増加したものの受取手形及び売掛金が13億3百万円、棚卸資産が60百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産は、56億94百万円となり前連結会計年度末と比べ77百万円増加いたしました。これは有形固定資産合計で85百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて12億83百万円減少の67億12百万円となりました。

流動負債は、43億85百万円となり前連結会計年度末と比べ10億65百万円減少いたしました。これは、短期借入金が11億55百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、23億26百万円となり前連結会計年度末と比べ2億17百万円減少いたしました。これは長期借入金が2億11百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、94億28百万円となり前連結会計年度末と比べ7億41百万円増加いたしました。これは剰余金の配当を1億22百万円実施したものの親会社株主に帰属する中間純利益を3億55百万円計上したことにより利益剰余金が2億33百万円増加したこと、為替換算調整勘定が5億8百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は58.4%になりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ6億13百万円増加し、28億40百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は21億10百万円(前年同期比236.8%増加)となりました。主な増加要因は税金等調整前中間純利益5億3百万円、減価償却費3億21百万円、売上債権の減少額14億43百万円であり、主な減少要因は仕入債務の減少額1億42百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億19百万円(前年同期比80.6%減少)となりました。主な増加要因は定期預金の払戻による収入6億9百万円であり、主な減少要因は定期預金の預入による支出5億61百万円、有形固定資産の取得による支出2億67百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は15億35百万円(前年同期比569.4%増加)となりました。主な減少要因は短期借入金の純減額11億63百万円、長期借入金の返済による支出2億10百万円、配当金の支払額1億22百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、最近の業績の動向を踏まえ、2024年3月15日発表時の予想を変更しております。詳細は、本日公表しました「2025年1月期第2四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 上記の業績予想は、この資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,694	4,387
受取手形及び売掛金	4,400	3,096
商品及び製品	537	320
仕掛品	1,103	1,177
原材料及び貯蔵品	1,206	1,288
その他	122	174
流動資産合計	11,064	10,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1,039	1,056
機械装置及び運搬具 (純額)	1,460	1,659
土地	1,989	1,971
その他 (純額)	522	410
有形固定資産合計	5,011	5,097
無形固定資産		
その他	183	139
無形固定資産合計	183	139
投資その他の資産		
その他	490	525
貸倒引当金	△68	△68
投資その他の資産合計	421	457
固定資産合計	5,616	5,694
資産合計	16,681	16,140

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,860	1,790
短期借入金	1,819	664
1年内返済予定の長期借入金	420	421
未払法人税等	214	150
賞与引当金	54	33
その他	1,082	1,326
流動負債合計	5,451	4,385
固定負債		
長期借入金	1,050	839
退職給付に係る負債	535	528
その他	958	959
固定負債合計	2,544	2,326
負債合計	7,995	6,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	1,107	1,107
利益剰余金	6,667	6,900
自己株式	△20	△20
株主資本合計	8,054	8,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	26
為替換算調整勘定	597	1,106
退職給付に係る調整累計額	14	7
その他の包括利益累計額合計	631	1,140
純資産合計	8,686	9,428
負債純資産合計	16,681	16,140

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
売上高	8,480	7,477
売上原価	6,350	5,785
売上総利益	2,129	1,692
販売費及び一般管理費	1,233	1,243
営業利益	896	448
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	3	3
受取賃貸料	18	19
為替差益	63	—
助成金収入	52	29
増値税還付金	—	31
その他	4	14
営業外収益合計	150	106
営業外費用		
支払利息	22	23
為替差損	—	5
減価償却費	10	10
その他	13	10
営業外費用合計	47	49
経常利益	998	505
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	2
税金等調整前中間純利益	999	503
法人税等	193	147
中間純利益	806	355
親会社株主に帰属する中間純利益	806	355

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
中間純利益	806	355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	6
為替換算調整勘定	173	508
退職給付に係る調整額	△10	△7
その他の包括利益合計	170	508
中間包括利益	977	864
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	977	864
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	999	503
減価償却費	300	321
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	△25
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14	△24
受取利息及び受取配当金	△10	△12
助成金収入	△52	△29
支払利息	22	23
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	2
有形固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	888	1,443
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△185	169
仕入債務の増減額 (△は減少)	△835	△142
未払金の増減額 (△は減少)	△113	18
前受金の増減額 (△は減少)	△289	272
その他	78	△220
小計	743	2,301
利息及び配当金の受取額	9	12
利息の支払額	△23	△24
法人税等の支払額	△156	△208
助成金の受取額	52	29
営業活動によるキャッシュ・フロー	626	2,110
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△153	△267
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△7	△2
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
定期預金の預入による支出	△1,297	△561
定期預金の払戻による収入	329	609
その他	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,128	△219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100	△1,163
長期借入金の返済による支出	△210	△210
リース債務の返済による支出	△37	△39
配当金の支払額	△81	△122
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229	△1,535
現金及び現金同等物に係る換算差額	117	257
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△613	613
現金及び現金同等物の期首残高	2,792	2,226
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,178	2,840

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イ及び電子 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,115	6,359	8,474	5	8,480	—	8,480
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,115	6,359	8,474	5	8,480	—	8,480
セグメント利益	249	646	896	0	896	—	896

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イ及び電子 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,506	4,966	7,473	4	7,477	—	7,477
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,506	4,966	7,473	4	7,477	—	7,477
セグメント利益	355	93	448	0	448	—	448

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

I 前中間連結会計期間(自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)

財又はサービスの種類別の内訳

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	電子機器部 品製造装置	ディスプレイ 及び電子部品	計		
プリント基板関連事業	1,190	—	1,190	—	1,190
液晶関連事業	633	—	633	—	633
印刷・表面加工事業	—	1,024	1,024	—	1,024
操作パネル関連事業	—	931	931	—	931
電子部品実装事業	—	4,221	4,221	—	4,221
その他	291	181	472	5	477
外部顧客への売上高(注) 2	2,115	6,359	8,474	5	8,480

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. 外部顧客への売上高は、顧客との契約から生じる収益を源泉としております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)

財又はサービスの種類別の内訳

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	電子機器部 品製造装置	ディスプレイ 及び電子部品	計		
プリント基板関連事業	1,495	—	1,495	—	1,495
液晶関連事業	847	—	847	—	847
印刷・表面加工事業	—	1,145	1,145	—	1,145
操作パネル関連事業	—	641	641	—	641
電子部品実装事業	—	3,123	3,123	—	3,123
その他	163	56	219	4	224
外部顧客への売上高(注) 2	2,506	4,966	7,473	4	7,477

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. 外部顧客への売上高は、顧客との契約から生じる収益を源泉としております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。